

# 第15回信濃川「水辺の楽校」開催！

8月20日に、つまりっ子ひろばにおいて第15回信濃川「水辺の楽校」が開催されました。例年9月末に開催されていましたが、異なる季節の自然の観察をしていただくこと、今年は一ヶ月早い8月の開催となりました。残暑厳しい中でしたが、子供たちは暑さを忘れ楽しそうに自然観察をおこなっていました。22名の参加者は4種類のコースで観察をおこないましたが、各コースとも多くの収穫があったようです。本活動を通じて、子どもたちにもっと信濃川に興味を持ち、十日町の豊かな自然を大切にしていってほしいと思います。

## 植物観察コース



→ クルミ、ノブドウ、ワラビなど約20種類の植物を見つけることができました。観察ガイドを開きながら確認して一生懸命メモを取っていました。



← ミヤマシジミの食草の「コマツナギ」の花も至る所にきれいに咲いていました。秋の開催時にはなかなかみられない花々も季節が変わるとみることができるのも楽しみのひとつです。

クマバッタ、ナキイナゴ、キチョウなど14種類の昆虫を見つけることができました。網を片手に一生懸命採取していました。

## ← 昆虫観察コース



ミヤマアカネもみつけました！

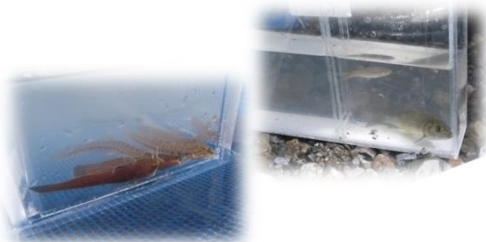
ヒヨドリ、コガモやカルガモなど13種類の野鳥の観察ができました。望遠鏡や双眼鏡で間近に野鳥を観察することができました。

## ← 野鳥観察コース



## 水生生物観察コース

→ ライフジャケットを着用した大人も子供も、熱心に水生生物をつかまえていました。子供達の祖父母の方も多く参加されていましたが、昔見ることのできた色々な水生生物などを思い出されていたようです。



絶滅危惧Ⅱ類に指定されている「アカザ」を昨年に続き発見しました！とても貴重です。観察後、すぐに自然へ帰してあげました。今年はコイもみつけることができました。他にもトンボのヤゴやナマズ、チラカゲロウなど18種類の水生生物をみつけることができました。雨の後の観察で多少川は濁っていましたが、たくさんの水生生物を観察できました。

